

調査速報

外食需要動向（2019年9月）

客数が前年同月の水準を大きく上回り、
外食産業売上高を押し上げる

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2019年9月の1世帯あたり実質外食支出は全国が前月比0.9%増（前年同月比4.0%増）、関東地方は同2.6%減（同6.2%増）となった。
- 9月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比4.0%増となり、増加基調を維持した。
- 外食産業売上高の内訳をみると、客単価（同0.7%増）は小幅な伸びに留まったが、客数の伸び（同3.3%増）が売上高を押し上げる要因となった。

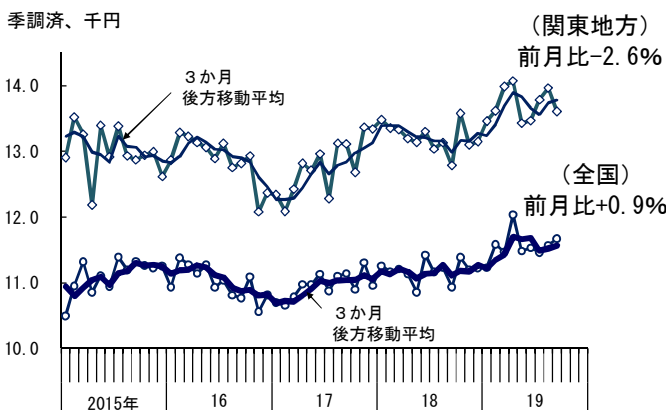
1. 9月の家計の実質外食支出は全国が前年比プラス、関東地方が前年比マイナス

総務省「家計調査」に基づく2019年9月の1世帯あたり実質外食支出（用途別分類、2人以上の世帯、学校給食を除く、実質化および季節調整は浜銀総合研究所が実施）は、全国が前月比0.9%増（前年同月比4.0%増）、関東地方が同2.6%減（同6.2%増）となった（図表1）。当月は全国的に晴天の日が多く、気温も上昇したことなどから、総じて家計の外出が活発になり、外食機会が増加したと推察される。一方、関東地方では台風15号の上陸による外出抑制等が外食支出減少の要因になったと考えられる。

2. 客数の伸びが外食産業売上高を押し上げる

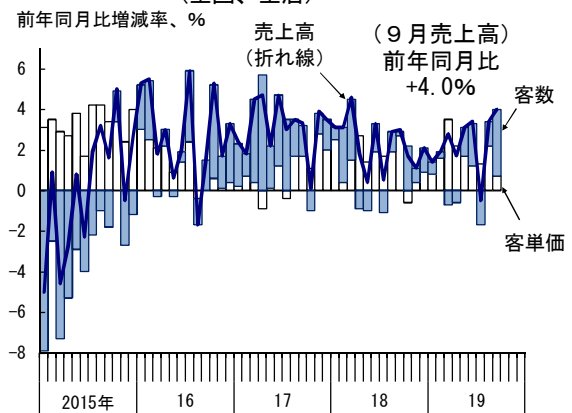
一般社団法人日本フードサービス協会が発表した「外食産業市場動向調査」によると、大手外食チェーンの9月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比4.0%増となった。売上高の内訳をみると、客単価（同0.7%増）は小幅な伸びに留まったが、客数（同3.3%増）が売上高を押し上げる要因となった。当月は前述のように、台風15号の上陸により関東地方の一部の外食チェーン等で営業時間を短縮する等の動きがみられたものの、全国的には天候に恵まれた。また、9月下旬は消費税率の引き上げ前の駆け込み需要で商業施設等の客数が増えことなども、外食チェーンの客数を押し上げたと推察される。

図表1 実質外食支出は関東地方で前月比マイナス
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：総務省「家計調査」の用途別分類「一般外食」。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラス
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. ファストフードの客数が大幅増

もともと、当月の客数の伸びは業態によって大きく異なる（図表3）。業態別に客数の動きをみると、「ファストフード」は前年同月比5.6%増となった。同業態のうち、特に「洋風」の客数（同10.6%増）が大きく増加し、業態全体の客数を押し上げる要因となった。大手ハンバーガーチェーンによる割安なセットメニューや期間限定メニューの投入などが奏功したとみられる。

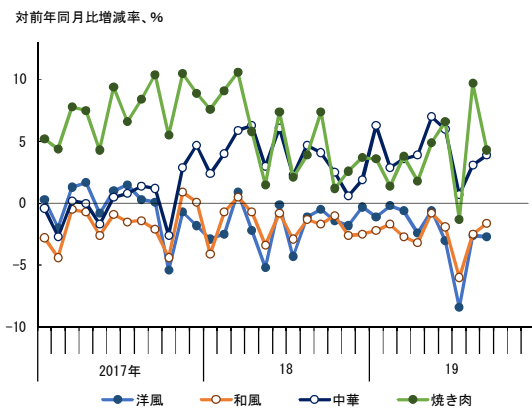
これに対して、「ファミリーレストラン」の客数（同1.0%減）は同前年同月の水準を下回った。同業態は「洋風」、「和風」、「中華」、「焼き肉」の4つに分かれている。このうち、「洋風」と「和風」の客数は前年割れであるのに対して、「中華」と「焼き肉」の客数は前年同月の水準を上回った。この傾向は2018年4月から続いており（図表4）、「ファミリーレストラン」の業態内でも客数の動きが大きく異なっている。また、「洋風」と「和風」の店舗数は18年末以降、減少に転じており、小幅ながら前年割れの状況が続いている（図表5）。これらを踏まえると、「洋風」と「和風」は足元の顧客ニーズに十分に対応しているとはいえず、一部のチェーンでは退店や店舗の入れ替えなどが始まっていると考えられる。

図表3 業態別の外食産業売上高（2019年9月、全店）

業種	店舗数	(前年同月比増減率)			
		売上高	店舗数	客数	客単価
全体	35,237	4.0%	-0.6%	3.3%	0.7%
ファストフード	19,118	6.8%	0.3%	5.6%	1.1%
洋風	6,300	9.7%	-0.7%	10.6%	-0.8%
和風	5,117	4.5%	1.3%	1.6%	2.9%
麺類	3,243	6.0%	1.6%	3.3%	2.6%
持ち帰り米飯/回転寿司	1,858	3.1%	-1.0%	3.4%	-0.4%
その他	2,600	2.7%	-0.2%	-1.3%	4.1%
ファミリーレストラン	9,569	1.3%	-0.3%	-1.0%	2.4%
洋風	4,850	0.4%	-0.9%	-2.7%	3.2%
和風	1,854	-1.4%	-2.3%	-1.6%	0.2%
中華	1,437	1.9%	1.7%	3.9%	1.0%
焼き肉	1,428	4.2%	2.6%	4.3%	-0.1%
バブ・居酒屋	2,401	-0.7%	-2.8%	0.1%	-0.8%
バブ・ビアホール	338	11.1%	-1.7%	10.5%	0.6%
居酒屋	2,063	-3.6%	-3.0%	-3.3%	-0.3%
ディナーレストラン	988	2.1%	-1.5%	1.9%	0.2%
喫茶	1,121	8.9%	1.0%	4.5%	4.2%
その他	1,264	-11.9%	-13.2%	-9.6%	-2.5%

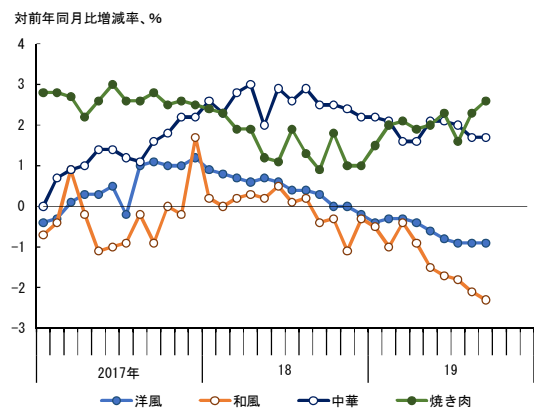
注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表4 ファミリーレストランの客数の推移（全店）



注：全店とは、既存店と新規店の合計。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表5 ファミリーレストランの店舗数の推移（全店）



注：全店とは、既存店と新規店の合計。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。